



広報

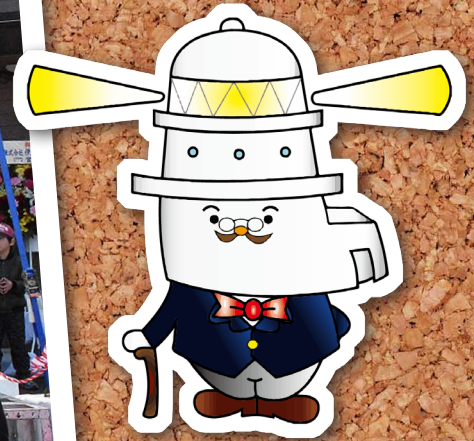
みなみいず

2020

4

No. 598

昨年4月1日
祝！オーシャンパーク開園



8月6日
星空鑑賞会



ジオパーク
ビジターセンター



伊勢海老まつり
～伊勢海老尽くしの特別な日～



石廊崎オーシャンパーク 開園1周年

- ・P2～3 3月定例議会 行政報告
- ・P4～5 令和2年度 町の施政方針
- ・P6～7 新年度当初予算について
- ・P8 令和2年度 町の組織案内
- ・P9 通院バス料金補助、人口動態調査のお知らせ
- ・P10 ユネスコ世界ジオパーク&ジオガイド活動報告

3月定例町議会



令和2年南伊豆町議会3月定例会が2月25日(火)から3月13日(金)の日程で開催されました。

行政報告 (要旨)

石廊崎オーシャンパークの整備状況

伊豆半島最南端に位置する石廊崎は「初日の出」鑑賞の適地として人気も高く、石廊崎オーシャンパークにも元旦から多くの来園者が訪れました。

しかしながら元旦は雲が多く、初日の出を見ることはできませんでしたが、午前5時30分には開園し、約2,000人の方々には壮大な景観をご堪能いただきました。

また、年末年始の9日間で来園者数は約9,000人に上り、昨年の開園時に目標としていた13万人を既に超過し、現在開催中の「みなみの桜と菜の花まつり」と相まって15万人にも到達する勢いと伺っています。

なお、令和元年度事業として着手した駐車場西側の芝生広場にかかる造園工事は2月末に完了し、令和2年度には同広場を活用したさまざまなイベントが企画されており、本年度を上回る来訪者が期待されるところです。

また、令和2年度当初予算には石廊崎オーシャンパーク園地整備事業

の総仕上げとなる管理棟建築工事費を計上しています。

光通信網整備の進捗状況

本年度をもって完了する光通信網の全町整備は、光ケーブル等敷設工程に基づく中で順調に推移し、2月末には全ての作業が完了します。

これに伴い、1月14日には通信事業者による住民説明会が開催され、140人の参加があり、改めて光通信に寄せる期待の高さを実感したところです。

いよいよ4月から64・65・67局エリアの光通信が稼働し、平成28年度から始まった町内の超高速ブロードバンド化事業が完結することになりますが、本事業に深いご理解とご支援を賜りました町民の皆さまならびに関係各位に対し衷心より感謝の意を表するものであります。

第6次総合計画の策定に向けて

これまで基礎自治体における「まちづくり」の指針となる総合計画の策定においては、地方自治法による策定が義務付けられていましたが、平成23年度の法改正を経てこれらの義務化が廃止されました。

このような中で、まちづくりの総合的かつ計画的な行政運営を継続的に進めるためには計画策定が必須との決断に至り、新たに第6次南伊豆町総合計画を策定することとしました。

新計画では令和2年度から令和11年度までの10年間の計画期間とし、第5次南伊豆町総合計画からのまちづくりを切れ目無く継承しつつ、人口減少や少子高齢化、厳しさを増す財政状況も踏まえた中で、新たな時代に即した行政運営を目指します。

広く皆さまにご理解いただける行財政運営の下、政策の選択と集中による重点化を図り、町民との協働によるまちづくりの構築に取り組んでいきます。

有限会社レップジャパンとの包括連携協定の締結

令和元年12月13日、河津町にて体感型動物園 iZoo^{イゾー}などを展開する有限会社レップジャパンとの間で、本町における地域産業の振興と地域課題の解消に寄与することを目的とした包括連携協定書を締結しました。

連携内容では、知的資源・人的資源および物的資源の活用をはじめとした6項目を掲げ、本協定に基づく連携・強化をもって町の更なる地域

活性化に繋げるものです。

なお、本協定締結後の1月29日には株式会社波勝崎苑と有限会社レップジャパンとの間で「波勝崎苑運営に関する基本協定書」が締結され、白輪剛史代表取締役からは、「Hagachizaki Monkey Bay」とする新たな名称やロゴマークなども発表されました。

4月24日の開園を目指し、施設改修などの準備が進むとのことでした。

賀茂1市5町と中北薬品株式会社による地域包括ケア・健康寿命等にかかる連携協定の締結

昨年12月26日、下田総合庁舎において賀茂1市5町と中北薬品株式会社による地域包括ケアの推進および健康寿命等にかかる連携協定が締結されました。

人生100年時代を迎え、高齢化率が極めて高い賀茂圏域において、健康寿命を如何に延伸させるかが喫緊の課題とされる中、医療・医薬品等に関する幅広いアイデアとノウハウを有する中北薬品株式会社との連携をもって、地域包括ケアの推進と健康寿命の更なる延伸を目指すものであります。

町営温泉施設みなと湯の移譲に向けて

みなと湯は昭和の時代から湊区営の共同湯として開湯した歴史ある温泉施設でしたが、建物等の老朽化が顕著となり施設改修が困難となったことなどから、移転および大規模改修等を経て平成4年から町営温泉施設となりました。

平成8年度には銀の湯会館がオープンし、平成22年度まで町の直営としていましたが、平成23年度から両温泉施設を民間事業者に委託し、地方自治法の改正を経て現在の指定管理者制度を導入いたしました。

このような中、両施設の指定管理期間が満了を迎えたことから、令和2年度以降の指定管理者を再公募するにあたり、みなと湯が立地する湊地区への温泉配湯補償契約の打ち切りが示され、公的温泉施設に不可欠な安定的な温泉供給が困難な状況と

なりました。

加えて、指定管理者からも数年赤字が続き、経営面で極めて厳しい状況にあることから、指定管理期間満了時にはその指定を辞退したい旨の意向が示されていました。

これら諸般の状況に鑑み、令和2年度以降の町営温泉施設にかかる指定管理者募集施設からみなと湯を除外しました。

今後の施設の在り方については、過去の経緯も踏まえた中で湊区による事業継承を打診しているところであり、早急に協議を進めながら適切な対応を図りたいと考えています。

商工・観光振興の取り組み

【1】ふるさと寄附の状況

令和元年12月末現在の寄附件数は2,538件で、寄附総額は1億183万6,025円となり、前年度比で36.1%の減となりました。

寄附の状況は、本年度においても大変厳しい状況にあるため、昨年11月末までにご寄附をいただいた方々に対し、本町の特色ある景観を活かしたカレンダーを配布するなど、更なる寄附者の定着に努めました。

加えて、年末の閉庁期間に未実施だった寄附受付を大晦日まで延長したところ、年末4日間で1,500万円を超えるご寄附を獲得することができました。

【2】第22回みなみの桜と菜の花まつり

昨年の大規模台風の影響からか、一部の河津桜の早期開花が見受けられ、例年より早めの満開となりました。同様に菜の花の育成にも大規模台風の影響が及んでいないか心配されていましたが、暖冬により菜の花も年末から開花しました。

また、2月22日には恒例となりました「第4回みちくさ夜桜マラソン・イン南伊豆町」が開催され、5km・10km・20kmの各部門に参加されたランナーたちが、ライトアップされた満開の桜並木コースを堪能していました。

なお、2月26日には青野川ふるさ

と公園において、株式会社NTTファイナンスの主催による八重桜「はるか」の苗木贈呈と植樹式が開催されます。

この八重桜「はるか」は、東日本大震災の復興機運の風化防止を願う「fukushimaさくらプロジェクト」が全国的に取り組んでいるもので、伊豆半島最南端の町から、福島・東北の復興をこれまで以上に強く祈念するとした意義あるイベントであります。

【3】昨年中の観光施設等の入込み

平成31年1月から令和元年12月までの町内観光施設等の分野別入込み状況は、昨年4月の石廊崎オーシャンパーク開園効果などで主要観光施設206,395人(前年比254.3%)と大幅な増加となりましたが、宿泊施設で一部施設の休止などから、182,091人(前年比91.8%)、温泉施設では86,046人(前年比97.5%)となるなど、夏場以降の大型台風などの影響を受けての減少となっています。



※行政報告は2月25日に開催された3月定例町議会時点でのものとなります

3 月定例町議会 令和 2 年度施政方針(要旨)

令和 2 年度に向けては、これまでの取り組みを着実なものとするほか、第 6 次南伊豆町総合計画における主要施策の推進を図るとともに、絶えず中長期的な財政状況を把握し、事務事業の選択と最適化を推し進め、安定的な行政サービスの提供に努めます。

とりわけ本町では、少子高齢化による人口減少、ライフスタイルの多様化などから住民のニーズも複雑・高度化しており、これらの行政課題に対応するため、絶えず情報収集に努めるとともに、自治体を取り巻く環境を的確に捉えながら、開かれた町政の推進と、町民の負託に応えるべく、職員の資質向上および行政組織の体制整備に取り組みます。

また、本町の財政状況においては、依存財源比率が極めて高く、国などの動向に左右されることから、不測の事態に柔軟に対応できるよう、ふるさと寄附等の財源確保や、財政調整基金等の充実を図り、健全な町政運営に邁進していきます。

第 6 次南伊豆町総合計画で基本構想・目標に掲げる施策のほか、南伊豆町過疎地域自立促進計画などの着実な履行をもって、町民の皆さまに賛同してもらえる町づくりを目指し、「子育て支援、観光・地域産業の振興、福祉・防災の充実」を柱に町政運営を進めます。次に、具体的な施策について申し上げます。



子育て支援

平成 30 年度から進めてきた学校等教室への空調機器整備については、令和元年度の中学校 2 校の整備をもって完了し、町内の全ての認定こども園・小中学校において、猛暑や寒さから園児や児童生徒を守る保育・教育環境が整いました。

また、懸案であった南中小学校グラウンド改修も完了し、表土の入れ替えや多孔管の埋設により、降雨後のグラウンドのコンディション回復が早まるなど、その効果は絶大なものとなりました。

令和 2 年度以降においても、引き続き子育て支援・教育環境の整備を推進し、高校生通学バス補助制度やこども医療費助成制度、出産祝金制度など各種支援策の充実を図り、少子化の流れを食い止めることや、その影響を緩和するための施策を積極的に展開していきます。

具体的には、加速する少子化や保育施設の老朽化、それに伴う安全確保などから、抜本的な体制の見直しが課題とされている認定こども園について、南伊豆認定こども園への一園化に向けた施設整備事業に着手いたします。

令和 2 年度には園庭および駐車場の整備を行い、令和 3 年度には園内

保育室の適正配置に向けた園舎改修を予定しており、令和 4 年度の完全一園化を目指します。

小学校教育における外国語教育では既に 3・4 年生は外国語活動が、5・6 年生は週 2 時間の外国語の授業が行われています。

さらに、新たな試みとして令和 2 年度から、自治体国際化協会が提供する外国青年招致事業 J E T プログラムを活用し、英語の外国語指導助手 (A L T) を町内の全小中学校に順次配置することにしました。

ネイティブの A L T が授業に参加することが、児童生徒のコミュニケーション能力を高める第一歩となることや、A L T の出身国の生活や文化について理解を深め、楽しみながら外国語を学べる環境が構築され、外国人コンプレックスの払拭や、より実践的な英会話が習得できるものと確信しています。

国際交流の分野においては、台湾教育旅行が 4 年目を迎えます。これまで、さまざまな台湾の高校生が南伊豆町に関心を抱き、本町を訪れ、本町からも多くの高校生が訪台し、ホームステイを通じて交流が深まるなど、次世代を担う高校生たちの国際的な視野と感性を培うとても良い

機会となっています。

国際的な人材の育成、伊豆地域の国際化という観点においても、極めて意義ある交流事業であることから対象を中学生まで拡大することなども検討しながら、訪台交流・教育旅行事業を推進していきます。

さて、全国各地では少子化の進行が加速し、児童生徒数の減少や学校規模縮小に起因する学校運営および教育課題への対応が求められ、学校統廃合や通学区域の変更および小中一貫校の創設など、地域特性を活かした対策が講じられています。

賀茂圏域内の状況に目を向けると中学校再編の動きは加速しており、河津町・松崎町では既に 1 校体制となっています。

本町においては、町内中学校生徒数が 150 人を割る令和 8 年度から令和 10 年度がその時期と考えられ、小学校においても近年の出生者数を鑑みると、中学校統合からそれほど遠くない時期に再編・統合を検討していく必要があります。

このため、令和 2 年度には学校統合に向けた委員会を立ち上げ、地域の皆さまからのご意見も含めて、多面的な考えのもと議論を進めていきます。

観光・地域産業の振興

昨年4月1日に、伊豆南部地域の皆さまの大きな期待を受けて石廊崎オーシャンパークがオープンしました。

昨年末までに約12万人の方が訪れ、現在開催中の「みなみの桜と菜の花まつり」と相まって、年度末までの来場者は約15万人にも到達する勢いと聞いています。

令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催による世界的規模でのインバウンド効果や、静岡デスティネーションキャンペーンアフターキャンペーンに期待が高まる中、これら大きな追い風を確実に捉えるため、本年度に整備した石廊崎オーシャンパーク内の芝生広場を活用して開催するさまざまなイベントを通じて、さらなる来訪者の獲得を図るとともに、豊富な海産物と特色ある地場産品、類まれなるジオサイトや800本の桜並木といったオンリーワンの観光資源に加え、本年4月末から名称も新たに再開

する「Hagachizaki Monkey Bay」との相乗効果をもって新たな伊豆半島周遊ルート確立を目指します。

産業分野では、平成30年2月に町と発電事業者を含む4者が地域活性化包括連携に関する協定書を締結し、同協定書に基づき、南伊豆町再生可能エネルギー農山村活性化協議会を設置し、エネルギーの地産地消、南上地域を中心とした新たな産業振興と地域活性化に加え、有害鳥獣対策に効果的とされる木質バイオマス・ガス化発電技術を活用したプラントの早期事業化を目指してきました。

同協議会は、再生可能エネルギーによる発電促進の意義、地域に適した発電の種類、発電量、発電設備設置に適した場所の選定などについて協議を重ね、昨年6月に、南伊豆町農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画書を策定しました。

これを受け、発電事業者はバイオマ

ス発電方式による南上地区内での発電規模150キロワット級の整備計画を作成し、本年1月下旬には、発電設備整備計画申請書を経済産業省に提出したところです。

また、近年、我が国においてはインターネットやスマートフォンなどの普及を始め、経済、社会、生活のあらゆる場面で情報化が進展し、誰もがその恩恵を享受しています。

本町においては、平成28年度に光通信網の整備に着手し、町内の約70%をカバーする62局での導入を皮切りに、令和元年度において整備した64・65・67局エリアの光ブロードバンド化をもって、町内全域の光ブロードバンド化事業が完結したところです。今後の光ブロードバンドの活用に向けては、さまざまな事業展開を模索し、光通信インフラを基盤とした地域の活性化・地方創生の深化に取り組んでいきます。

福祉・防災の充実

自治体間連携に基づく特別養護老人ホームエクレシア南伊豆は、連携先である東京都杉並区からの入所者受け入れはもとより、賀茂圏域での利用も順調で満床状態が続いています。隣接する南伊豆町健康福祉センターは、町民の健康増進と福祉向上に資する極めて重要な役割を担う施設であり、地域包括支援センターによる介護予防や、高齢者の総合的な相談窓口のほか、健康・福祉・子育て支援事業における拠点施設として、幅広い年齢層の方々に活用されています。

このような中であって本町の高齢化率は46%を超え、近年では買物や外出の際の「足」の確保で困っている高齢者が増加するなど、大きな社会問題となっています。

このため、高齢者の移動・外出支援に向けて、「元気なシニア」が「支援を必要とするシニア」を支える、助け合いの仕組みづくりを構築するため、静岡県ふじのくに壮年熟期プロジェクトを活用し、シニア世代の町民ならびに町内の事業所を対象とする、高齢者

の移動・外出支援セミナーを開催してきました。

全4回のセミナーでは、専門家をアドバイザーに招き、高齢者の移動・外出支援の実施に向けた現状認識や課題を抽出するとともに、解決策などについて意見交換を行い、先進地視察も行った中で、本町に即したサービスなどを考案してもらいました。そして、運転ボランティアの養成も終了し、令和2年度はモデル事業を展開する中で、移動・外出支援事業を熟成し、今後の本格運用を目指します。

さて、近年における災害は大規模化・多様化しており、少子高齢化という社会構造の変化から、社会経済構造も大きく変貌しています。このため、災害時などに関わらず、目まぐるしく変化する局面において、迅速かつ正確な情報伝達が不可欠とされています。

防災行政無線は、都道府県および市町村で規定する地域防災計画に基づきそれぞれの地域における防災・応援救助・災害復旧に関する業務で使用することを主な目的としており、平常時に

は一般行政事務に使用できる無線局であることから、所管する総務省では、防災行政無線施設の早期デジタル化を推奨しています。

市町村で設置する防災行政無線は、移動系と固定系に大別され、本町においては移動系のデジタル化は既に完了しているものの、固定系のデジタル化には多額の事業費を要するなどの理由から先送りにされてきました。

適正かつ安定的な災害情報の提供は地域防災の要とされるものであることから、令和元年度の実施設設計を経て、令和2年度から令和5年度までの4年間をもって機器整備を進め、県交付金や、起債による財源確保に努めるとともに、財政支出の平準化と効率化を図り、同時通報用無線施設のデジタル化を推進していきます。

また、静岡県による津波災害警戒区域（イエローゾーン）の指定を契機として、更なる地震・津波対策について着実に進めます。

令和2年度 当初予算

本年1月20日、一般会計の総額を102兆6,580億円とする令和2年度国家予算案が閣議決定され、消費増税や経済成長を見込んだ国税等の伸びが反映される中で、地方税・地方交付税などの一般財源総額は、令和元年度と実質的に同水準を確保するとしています。

一方、本町においては主要産業である観光業の低迷や人口減少などから、町税等の伸びは期待できず、歳入の約7割を依存財源に頼らざるを得ない現状から、財政状況は依然として厳しい状況にあるため、国や県の動向に十分留意しながら、将来を見据えた中長期的な財政ビジョンが求められています。

これらのことから、新たに策定した第6次南伊豆町総合計画における主要課題を踏まえ、「地域を経営する」という発想のもと「地域力」の強化に努めるほか、政策の選択と集中をもって重点化を図り、施策・事業の進捗状況を的確に捉えた上で、今後の施策展開および財政ビジョンに反映させることが極めて重要となるため、事業効果と優先順位に配慮した適切な予算配分に努めたところです。

一般会計にかかる予算総額では、前年度比0.4%減の49億6,000万円を計上したほか、一般会計・12特別会計および水道事業会計の総額では、前年度比1.3%増の88億1,280万5,000円としました。

一般会計

自主財源 31.3%
依存財源 68.7%

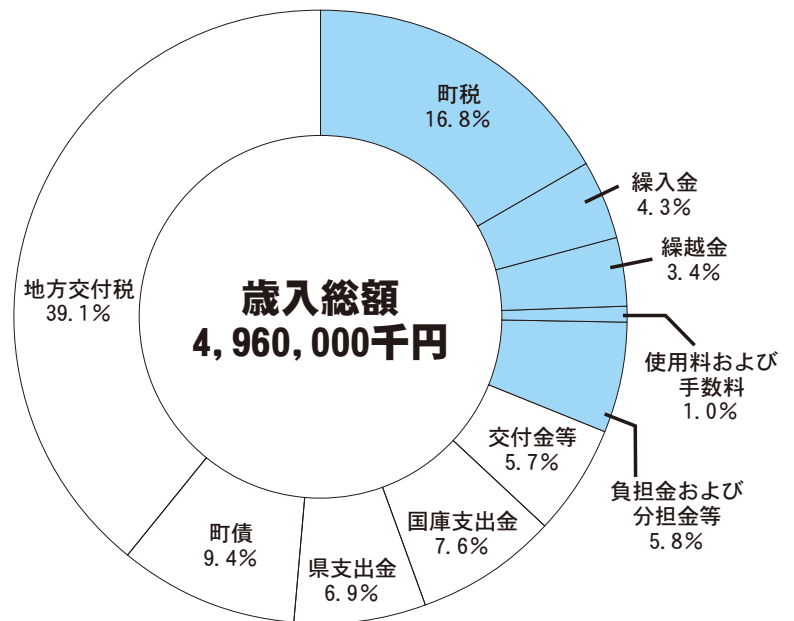
●歳入 49億6,000万円

自主財源 31.3%

地方公共団体が自主的に収入できる財源

依存財源 68.7%

国県支出金など自主財源以外の財源



※グラフは小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります

町税 8億3,488万6千円

町民の皆さまに納めていただく町民税や固定資産税などの税金

繰入金 2億1,137万2千円

各種基金（貯金）から繰り入れるお金

繰越金 1億7,000万円

令和元年度から繰り越したお金

使用料、手数料 4,989万7千円

保育料、町の施設の使用料、証明手数料など

負担金、分担金等 2億8,703万2千円

特定のサービスを受けた方から負担していただくお金

交付金等 2億7,955万1千円

国から一定の割合で配分、譲与されるお金

国庫支出金 3億7,745万8千円

町が行う特定の事業に対して国から交付されるお金

県支出金 3億4,330万4千円

町が行う特定の事業に対して県から交付されるお金

町債 4億6,650万円

町の借金。大規模な事業を行うために国などから借りるお金

地方交付税 19億4,000万円

町が標準的な仕事をする際に、不足する財源を補填するため国から交付されるお金

●歳出 49億6,000万円

主要事業

- デジタル同報系防災行政無線整備工事
1億8,672万5千円
- 南伊豆認定こども園庭・駐車場造成工事
4,153万6千円
- 英語教育事業
1,934万円
など

議会費 6,244万8千円

議員報酬や議会の運営経費など

総務費 7億8,183万3千円

行政全般の事務に関する経費、企画調整費、財産管理経費など

民生費 12億5,420万4千円

高齢者、心身障害、母子などの福祉事業や子育て支援の経費など

衛生費 5億2,899万9千円

住民検診などの健康管理、ごみ焼却の運営管理経費など

農林水産業費 2億1,042万4千円

農業・林業・漁業の振興、有害鳥獣対策経費など

商工費 2億2,112万5千円

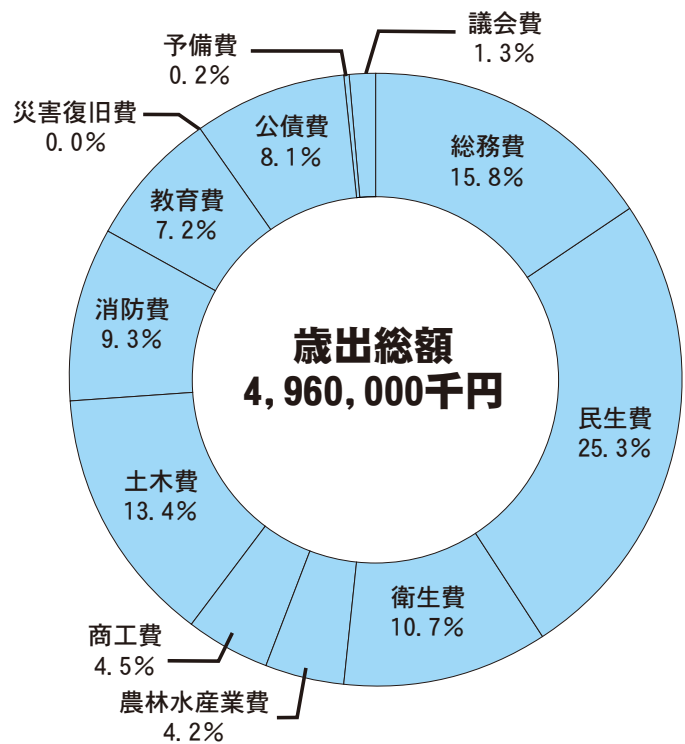
商工業、観光業の振興に関する経費など

土木費 6億6,711万9千円

道路・河川などの改良事業や維持管理、都市計画や街路整備、下水道事業特別会計への繰り出しなど

消防費 4億6,363万6千円

消防組合および消防団の経費や防災対策経費など



教育費 3億5,649万5千円

小中学校の管理運営費、生涯学習などの費用、図書館の運営費など

災害復旧費 104万9千円

災害による復旧費

公債費 4億266万8千円

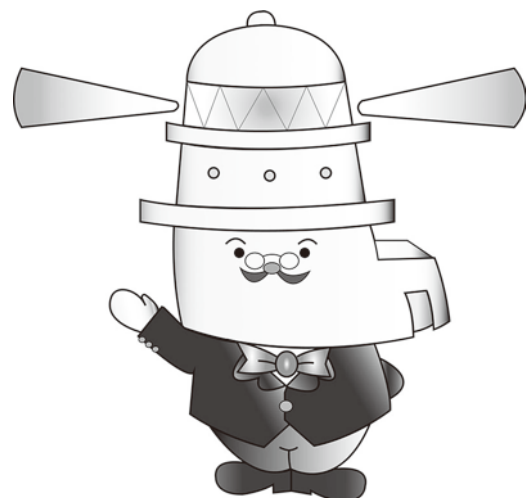
事業を行うために借りたお金（町債）の償還費用

予備費 1,000万円

予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための費用

特別会計予算 32億9,414万3千円	
国民健康保険特別会計	13億7,158万9千円
介護保険特別会計	13億383万2千円
後期高齢者医療特別会計	1億3,367万7千円
南上財産区特別会計	22万2千円
南崎財産区特別会計	41万円
三坂財産区特別会計	587万2千円
土地取得特別会計	1千円
指導主事共同設置事業特別会計	3,280万4千円
公共下水道事業特別会計	3億7,632万8千円
子浦漁業集落排水事業特別会計	1,813万9千円
中木漁業集落排水事業特別会計	2,434万7千円
妻良漁業集落排水事業特別会計	2,692万2千円

企業会計予算 5億5,866万2千円	
水道事業会計	5億5,866万2千円



問合せ 総務課 財政係 ☎ 62-6211

令和2年度 町の組織案内

開庁時間 8:30~17:15

※土日祝日および年末年始(12月29日~1月3日)は、特別な業務を除き、業務を行っていません。

総務課	総務係	町長秘書、行政、選挙、人事、条例、行政協力員、情報公開、行財政改革等
	財政係	予算・決算、公会計改革等
	管財係	入札・契約、入札参加申請、工事検査、庁舎管理、財産管理、施設予約受付等
	防災係	防災、消防、交通安全、自衛隊、暴力追放、防犯等
☎62-6211 ✉soumu@town.minamiizu.shizuoka.jp		

企画課	企画係	石廊崎開発、半島振興、新エネルギー、コミュニティ補助、バス対策、国土・土地利用、消費者行政、広域連携、男女共同参画等
	情報政策係	広報・公聴、統計調査、基幹情報電算業務、光通信、タウンプロモーション等
☎62-6288 ✉kikakuc@town.minamiizu.shizuoka.jp		

地方創生室	地方創生係	地方創生、政策企画・推進、過疎・辺地、移住定住、地域おこし事業等
☎62-1121 ✉sousei@town.minamiizu.shizuoka.jp		

商工観光課	観光推進係	観光振興、町営温泉施設・道の駅管理、観光施設整備事業、緑化、ジオパーク等
	商工振興係	商工振興、ふるさと寄附、企業誘致(町有地利活用、内陸フロンティア)、販路開拓等
☎62-6300 ✉shoukou@town.minamiizu.shizuoka.jp		

地域整備課	公共管理係	公共土木施設管理、占用、境界立会、都市計画、建築確認、自然公園法、町営住宅等
	建設整備係	公共土木、港湾・漁港・農林施設設計施工管理、災害復旧事業、急傾斜等
	農林水産振興係	農林水産振興、治山、松くい虫、鳥獣保護、有害鳥獣対策、農業委員会、水田転作、地籍調査等
☎62-6277 ✉tseibi@town.minamiizu.shizuoka.jp		

会計室	会計係	町公金の収納・支払い、県収入証紙の売捌等
☎62-6220 ✉kaikei@town.minamiizu.shizuoka.jp		

町民課	課税係	町民税、法人町民税、軽自動車税、国保税、入湯税、固定資産税等
	納税係	町税徴収、滞納処分等
	住民年金係	戸籍、住民票、印鑑証明、火葬許可、人権相談、国民年金、旅券事務等
☎62-6222 ✉cyoumin@town.minamiizu.shizuoka.jp		

健康増進課	国民健康保険係	国民健康保険(給付)、後期高齢者医療保険、特定健診等
	健康増進係	予防接種、健康増進事業(各種がん検診、健康教育・相談)、保健協力委員、母子・歯科・精神保健、患者輸送車等
☎62-6255 ✉kenkouz@town.minamiizu.shizuoka.jp		

福祉介護課	子育て支援係	認定こども園事務、母子・こども医療、児童手当等
	介護保険係	介護保険等
	福祉係	民生児童委員、老人・障害福祉、生活保護、災害救助、日赤・共同募金等
☎62-6233 ✉fukukai@town.minamiizu.shizuoka.jp		

福祉介護課(健康福祉センター内)	地域包括支援センター	介護予防事業、介護予防給付、高齢者総合相談、権利擁護事業等
☎36-3335 ✉fukukai@town.minamiizu.shizuoka.jp		

生活環境課	上下水道係	企業会計、水道施設の維持管理、水道工事の設計・施工管理、水質検査、下水道工事、クリーンセンター等施設の維持管理、漁業集落排水施設管理等
	生活環境係	環境、公害、生活排水監視、犬の登録、ごみ処理・収集事務等
☎62-6270 ✉seikatsuk@town.minamiizu.shizuoka.jp		

議会事務局	議会、監査事務等
☎62-6240 ✉gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp	

教育委員会	社会教育係	社会教育、社会体育、生涯学習、文化財、芸術文化、青少年健全育成、図書館関係等
	学校教育係	学校教育、学校施設整備、学校給食、学校会計庶務等
☎62-0604 ✉kyoin@town.minamiizu.shizuoka.jp		

下田メディカルセンターへの バス通院料金の一部を助成します

町では、下田メディカルセンターへの通院に要するバス料金の一部を助成しています。

●対象者

- ①町内に住所があり、申請日において満65歳以上で生活保護世帯でない方
- ②上記①の方が通院する際に付き添う方で、バスを利用する方（1名に限る）



●助成額

1回の通院に要したバスの料金の半額を助成します。なお、1回の通院のバス料金が2,000円を超えた場合は、バス料金から1,000円を引いた金額を助成します。

●助成に必要な手続き

福祉介護課にて申請を受け付け、審査の上、「令和2年度南伊豆町高齢者通院バス料金助成証明書」を発行します。

申請に必要なもの：印鑑、保険証

※令和元年度に申請された方も利用する場合は再度申請する必要があります

発行された証明書は、バスを降りる際（行きと帰り時）と、下田メディカルセンター受診後（会計終了後、受付窓口）に提示し、証明書に確認の印を受けてください。

助成を受けるには、高齢者通院バス料金請求書と、確認の印を受けた助成証明書を添えて請求してください。

問合せ 福祉介護課 福祉係 ☎62-6233

戸籍届書提出時における人口動態調査の実施

今年は5年に1度行われる国勢調査の年です。また、これに併せて厚生労働省による「人口動態調査（職業・産業）」が実施されます。

○人口動態調査とは

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の状況が調査され、調査結果は、公衆衛生、労働衛生、社会福祉など各施策のための重要な資料として活用されています。

人口動態調査で得た情報は統計法により厳守され、個人の特定などに使われることはありません。



○対象の届出

4月1日から令和3年3月31日までの出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出

○調査方法

各届書の届出をするときに職業を記入してください。自分の職業の分類が不明な場合は、役場の窓口「職業・産業例示表」を備え付けてありますので、内容を確認の上、記入してください。また、内容を確認してもわからない場合は窓口でお尋ねください。

【記入例】

- ・医師・教員など …「技術・専門職」
- ・一般事務員など …「事務職」
- ・販売店員・営業職従事者など …「販売職」
- ・美容師・ホームヘルパーなど …「サービス職」

※死亡届にはこのほか、「農業」、「建設業」、「製造業」、「不動産業」といった産業も併せて記入してください

問合せ 町民課 住民年金係 ☎62-6222



伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク ジオガイドの活動、ご存知ですか

●ジオガイドとは？

伊豆半島ジオパーク推進協議会が認定した資格を持っているガイドです。1月時点で、伊豆半島全体で180名ほどのジオガイドが認定されており、その内50名ほどが有料ガイドとして活動しています。

●ジオガイド活動報告会を実施しました

町では、2月19日(水)に「ジオガイドの活動報告会～私たちの地域の誇りと魅力と伝え方～」を開催し、約70名の参加がありました。

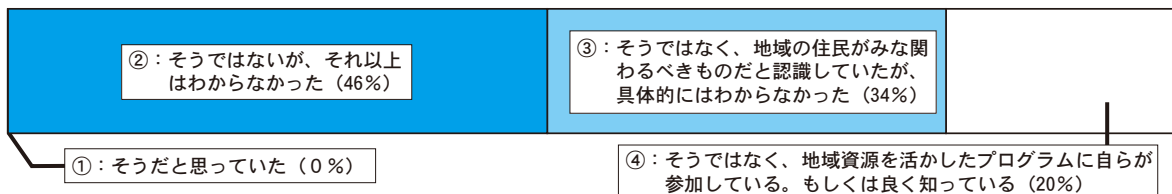
私たちはこのように考えています！

- ①地域の食材を楽しめるツアーを作りたい
- ②周辺の宿泊施設や自然を楽しめる体験事業者、自然をフィールドとしている農林漁業者と連携したツアーを作りたい
- ③地元の子供たちに地域の自然や伝統の魅力を伝えていきたい。また、地元の子供たちだけでなく都会から来る子供たちにも伝えていきたい



参加した方にアンケートを行い、53名の方からアンケートの回答を得られました。アンケートに以下の設問を設けたところ、グラフのような回答が得られました。

Q. 伊豆半島ジオパークとは「地質や火山の専門家だけの楽しみ」だと思っていた



このアンケート結果から、地域資源を活かしたプログラムに自ら参加しているまたは参加すべきものだと認識していた人の割合は54%にとどまりました。それ以外の方は「ジオパークプログラム」がどのようなものかよくわかっていなかったと考えられます。

▶ユネスコの世界ジオパークプログラムとは？

- ①社会が直面する課題である気候変動や自然災害への理解を促進すること
 - ②地域の人々に誇りを持たせること③自然資源を活かしたジオツーリズムを定着させることを目的として、国際的な地質学的価値と地域の自然や文化遺産を保全し、住民に教育しながら、住民とともに持続可能な地域振興を行うことがジオパークプログラムです。
- 持続可能な地域振興とは、例えば希少な技術で栽培したワサビを用いた商品開発や、エダサンゴをしっかりと保護しながらスノーケリングで熱帯性の魚やその住処となる地形を楽しむこと、それらを楽しめるツアーを提供することです。

●ジオガイドのスキルアップに取り組みました

町では、「令和元年度総務省過疎地域自立活性化推進事業」を活用し、モニターツアーの企画・実施、旅行会社ヒアリングなどによるジオガイドのスキルアップ研修を行いました。

この研修では、ジオガイドが体験事業者や農林漁業者などと連携したツアー商品を造成するスキルを身につけることと、造成したツアーの実施に伴い、地域のソーシャルビジネスが連携して発展することを目的としました。

これからも地域の自然や文化遺産を活用したジオツーリズムやジオパークのことを皆様にお知らせする取り組みを進めていきます。



ジオツーリズムが担う持続可能な開発目標 (SDGs)

問合せ 商工観光課 観光推進係 ☎62-6300

1対1の暮らし体験プログラム「南伊豆暮らし図鑑」 ～町民向け無料体験実施のお知らせ～

地域おこし協力隊
伊集院さんの
取り組み

南伊豆暮らし図鑑とは、町に暮らすさまざまな人たちの日常を1対1で体験できる暮らし体験プログラムです。今回は以下のプログラムについてそれぞれ1組ずつ体験者を募集しています。1人からの参加を推奨していますが、家族や友達を誘って複数名で体験することもできます。



「滝上の家庭菜園と 季節のジャム作り」

●体験提供 松本ちえ子さんと恒明さん
日時：4月25日(土)13:30～17:00
募集期限：4月20日(月)

小さな滝上の家庭菜園がある松本さん夫妻の日常へ。旬のフルーツを用いた添加物を使わないジャム作りを体験しましょう。



「森のアトリエで、五感を 意識しながら器を作る」

●体験提供 柴山和貞さん
日時：4月25日(土)13:00～17:00
募集期限：4月20日(月)

天神原で陶芸家として活動する柴山さんの日常におじゃまします。静かな森のアトリエで五感を開き、器作りをしてみませんか？柴山さんは生まれつき耳が聞こえづらいため、筆談になります。

<申込み方法>

右記QRコードを読み取り、専用申込みフォームから申し込みまたは以下までお問い合わせください

<概要>

応募者多数の場合は抽選になります。(集合場所などの詳細は当選者に通知)

定員：各1組(1～5名)まで

※本来は有料の体験プログラムですので、抽選に外れた方は正規の申し込みからご応募ください



問合せ 地方創生室 ☎62-1121



南伊豆町に移住して
半年が経ちました

石廊崎オーシャンパーク開園から1年が経過します



芝生広場が出来上がってきました



石廊崎オーシャンパーク内の施設「ノーティア」の公式ツイッターです。最新情報はこちらから確認できます

地域おこし協力隊の堤です。こちらに来て早くも半年が経ちました。大勢の方々とお会いし、町のイロハを教えてくださいました。

「郷に入れば郷に従え」と「新しい風を」の融合で、町の活性化が出来るよう日々活動に励んでいます。

さて、この記事を書いているのは3月上旬ですが、日本全国で新型コロナウイルスが猛威を奮っており、終息のめどが立っていません。

観光業界にもその影響が大きく出ており、外出を控える方の増加に伴い、インバウンドを始めとした全国のほとんどの観光関連事業は苦勞しているようです。政府からも「不要不急の外出を控えてほしい」という要請が出ています。この広報が出版される頃には回復および新型コロナウイルスの感染拡大が収束に向かっていることを心より願っています。

さて、私の担当している石廊崎オ

ーシャンパークは4月1日で開園から丸1年が経過します。

前年度の実績が出来たことで、それをもとにさまざまな検討を行い、石廊崎オーシャンパークをより良くしていく準備を進めています。

中には町内の方も足を運んでいただけのような施策も入っておりますのでご期待ください。

また、オーシャンパークの施設として「芝生広場」が今年中にオープンを予定しており、さらなる設備の充実が期待されます。

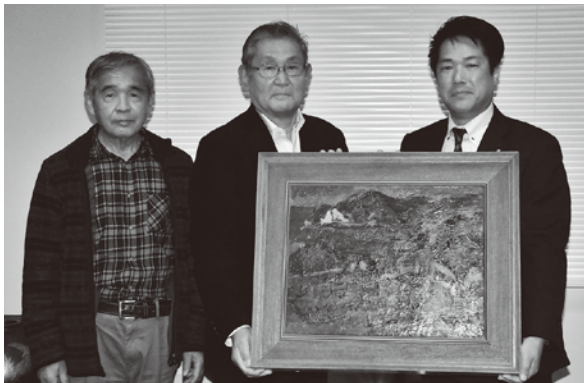
より良くなるオーシャンパークを活性化できるよう、よりいっそう頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

地域おこし協力隊 堤 亮介

問合せ 地方創生室 ☎62-1121



2/14 絵画の寄贈を受ける



絵画寄贈の様子

洋画家の故・越次勇さんの息子で東京都在住の越次路人さんから、中木の猿島などを描いた絵画7点の寄贈がありました。寄贈された絵画は絵の題材となっている中木区や、町内の小中学校に展示されています。

2/22 夜桜の下を駆ける



菜の花と桜に彩られた夜道を走る参加者たち

「第4回みちくさ夜桜マラソンin南伊豆町」が開催され、町営銀の湯会館を発着点に、満開の河津桜と菜の花の中を参加者たちが駆けました。また、ゴール後に伊勢エビの味噌汁が振る舞われ、参加者たちは舌鼓を打っていました。

2/27 自衛隊入隊式



自衛隊や町の自衛隊協力会の方と記念撮影する山田さん

この春から自衛隊に入隊する山田隆斗さんの激励会が役場湯けむりホールで行われました。自衛隊員などから激励を受けた山田さんは「身に余る激励をいただき支えられていると感じました。身の引き締まる思いです」と語りました。

2/16 第20回菜の花結婚式



子どもたちから花束を受け取る鈴木さん夫婦

菜の花結婚式が挙行され、伊東市在住の鈴木和志さん・かおりさん夫婦が、親族や観衆の前で永遠の愛を誓いました。また、下田高校吹奏楽部による演奏や、ゲストたちから花束が送られるなど式は大いに盛り上がりました。

2/26 東北の桜を南伊豆に



植えた桜に水をかける児童たち

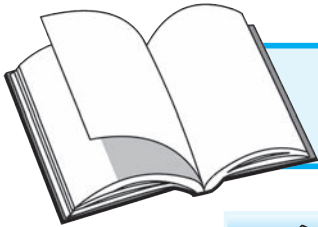
福島・東北を応援するfukushima桜プロジェクトの一環として、復興のシンボルであり福島で育てられた新種の桜「はるか」の植樹式が行われ、東日本大震災の年に生まれた町の小学生や関係者などが参加しました。

3/12 ヤシのコモ外し



コモ外しの様子

奥石廊崎の県道沿いのヤシに、冬季の防寒対策としてかけてあったコモを外す作業が行われました。作業当日は春陽気で暖かく、ほとんど風が吹かない良好な状態で、コモが外されると中から青々としたヤシの葉が見せました。



図書館だより

開館時間 8:30~17:15
 休館日 月曜日・木曜日・祝日
 ☎62-7100 FAX 62-1402

今月のおすすめ図書



「正義の教室」

飲茶／ダイヤモンド社

人類誕生から続く正義を巡る論争の決着とは？いじめによる自殺者を出した高校を舞台に、生徒たちの会話から正義の正体が炙り出されていく。



「ボダ子」

赤松利市／新潮社

男は堕ちていった。境界性人格障害、震災貧困、いじめ、嘘、逃亡、4度の結婚、愛人パイアグラ…。トラウマ必至の衝撃作！心して読め！



「クリーンミート」

ポール・シャピロ／日経BP

「安全な肉が食べた～い」という熱烈な声に応じて、動物の細胞から人工培養でつくる純粋な食肉が開発された。これ、SFのようなホントの話。



「変半身」

村田沙耶香／筑摩書房

闇夜に響く奇妙な声は、秘祭「モドリ」の開始を告げる合図だった。孤島を舞台に繰り広げられる狂乱の宴。君臨する神の驚愕の正体とは…。



「危機と人類 上・下」

ジャレド・ダイヤモンド／日本経済新聞出版社

国家はいかにして存亡の危機を乗り越えるのか。近代の歴史的事例を参考に、迷える現代人へ救いの道を示す研究書。明るく未来はこの1冊から。



「雲を紡ぐ」

伊吹有喜／文藝春秋

分り合えない母と娘。壊れかけた家族はもう一度ひとつになれるのか。ホームスパンという伝統織物に導かれ、再生の道を進む感動の家族物語。



「炊飯器レシピ」

星野奈々子／樞出版社

炊飯器を御飯を炊くためだけに使っていませんか？勿体ない！材料を入れてスイッチを押すだけ。世界のグルメを食卓にお届けします！



「熱源」

川越宗一／文藝春秋

開拓者に故郷を奪われ、伝統を食い荒らされた…。明治維新後、樺太に住むアイヌに何が起こっていたのか。文明に抗う人々を描いた歴史大作。



「古関裕而」

刑部芳則／中央公論新社

昭和、平成、令和。時代を越えて愛される数々の名曲を生み出した、作曲家古関裕而先生の生涯に迫る一冊。オールスター家族対抗歌合戦！



「清明」

今野敏／新潮社

人気シリーズ隠蔽捜査最新作！警視庁との軋轢、立ち上る公安と中国の巨大な壁。心配りありません、お馴染みのメンツがスカッと解決！

新着図書案内

ボケの品格

川北義則

封印された頼朝の軌跡

花上雅男

まとまらない人

坂口恭平

オリジン・ストーリー

デイヴィッド・クリスチャン

ウォーキングの科学

能勢博

なんとかする工作

青木亮作

歌舞伎座の怪紳士

近藤史恵

奈落

古市憲寿

梅と水仙

植松三十理

清く貧しく美しく

石田衣良

首

北野武

紙鑑定士の事件ファイル

歌田年

あなたの右手は蜂蜜の香り

片岡翔

結婚の奴

能町みね子

これでもいいのだ

ジェーン・スー

図書館利用案内

図書館の利用について

4月は出会いの季節です。図書館でも感動や興奮をもたらすさまざまな本が皆さまとの出会いを待っています。ぜひ一度、図書館へお越しください。

●利用者カードの交付

初めて本を借りる時は、登録申込書に必要事項を記入し、免許証や保険証など、住所と氏名の確認できるものを一緒に提示してください。

●借りるとき・返すとき

本を借りる時は、他者との誤認防止、混雑緩和のため、カウンターで必ず利用者カードを提示してください。

休館日や夜間の本の返却は、玄関脇のブックポストに入れてください。但し、DVD、新刊雑誌は汚損や破損の原因となりますので必ずカウンターへ返却するようお願いいたします。

お知らせ

介護用品購入費の一部および介護慰労金の給付

65歳以上の高齢者を在宅で介護している家族の負担軽減のため、介護用品購入費の一部および慰労金の給付を行います。

●介護用品購入費の一部給付

対象 65歳以上の高齢者で「要介護4」または「要介護5」と認定された方を常時在宅で介護し、かつ生計を同じくする町民税非課税の世帯

内容 紙おむつまたは防水シートに係る費用を償還払いにて給付

支給限度額 年間60,000円(月額5,000円)

●家族介護慰労金の給付

対象 65歳以上の高齢者で「要介護4」または「要介護5」と認定された方を過去1年間介護保険サービスを利用せずに常時在宅で介護し、かつ生計を同じくする町民税非課税の世帯

内容 介護を行うことへの慰労金を給付

支給額 年額100,000円

申請方法 福祉介護課にて申請受付

持ち物 印鑑、介護保険証

申請・問合せ 福祉介護課 福祉係 ☎62-6233

第21回静岡県障害者スポーツ大会「わかふじスポーツ大会」個人競技参加者募集

第21回静岡県障害者スポーツ大会「わかふじスポーツ大会」の参加者を以下のとおり募集します。

大会種目 陸上、水泳、団体球技など17種目

申込方法

●個人競技

福祉介護課福祉係まで電話で申し込み

●団体競技

公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会まで電話で申し込み

申込期間 4月13日(月)～5月15日(金)

申込・問合せ 福祉介護課 福祉係 ☎62-6233

公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会 ☎054-221-0062
FAX: 054-651-2600
✉s-spokyo@za.tnc.ne.jp

障害のある人のための相談会開催

日時 毎月第3木曜日(12月のみ第2木曜日) 13:30～15:30

場所 役場

内容 障害の種別、障害手帳所持の有無を問わず、障害のある人の就職や生活面での相談、障害のある人たちを雇用する事業主の方の相談、自分らしく働ける場所を探している方の相談など

※要予約

予約方法 電話または役場窓口にて予約

予約・問合せ 福祉介護課 福祉係 ☎62-6233

HIV等の検査および骨髄ドナー登録の実施

日程 4月16日(木)、5月14日(木)、6月11日(木)※、7月9日(木)、8月13日(木)、9月17日(木)、10月15日(木)、11月12日(木)、12月10日(木)※、令和3年1月21日(木)、2月18日(木)、3月4日(木)

時間 9:00～12:00(6月および12月を除く)

※6月および12月は午後検査

午後検査13:30～15:00

場所 下田総合庁舎別館1階相談室

検査項目 B型肝炎、C型肝炎、HIV、梅毒、HTLV-1(11月のみ実施)

全ての検査は無料で受けられますが、予約が必要です。また、HTLV-1検査以外は匿名で検査が行えます

結果通知

検査当日の14:00以降に本人に口頭で告知(午後検査時は15時以降、夜間検査時は19時以降)

ただし、HTLV-1検査の結果は、数日から1か月後に本人に口頭で告知

申込方法 希望する検査の前日16時までに電話で予約

その他 各開催日には骨髄バンクドナー登録が行えますが、その場合は前日までに予約が必要です

予約・問合せ 賀茂保健所 地域医療課 ☎24-2052

児童福祉週間

子供や家庭、子供の健やかな成長について国民全体で考えるために、全国各地で行事や啓発事業が実施されます。

期間 5月5日～11日

●街頭キャンペーン

日時 4月28日(火)11:00～11:30

場所 東急ストア下田とうきゅう店広場

その他 関連イベント情報は県ホームページに掲載

問合せ 静岡県こども未来課

☎054-221-3546

URL: <http://www.fujisancco.pref.shizuoka.jp/>

5月は自動車税納付月

納付は計画的に



問合せ...静岡県下田財務事務所課税課
漫画...静岡県賀茂地域局 村松大輔

055812412018

※5月は自動車税の納付月です。お支払いのご準備をお願いします。

メディカル通信

人間ドックを受けましょう

自分の体内をどんな血液が流れているかご存知でしょうか。人間の体内環境は、日々の生活や食生活によって作られています。自分自身の体内環境を知るために必要な検査が揃っているのが人間ドックです。

人間ドックはがんを探すための検査と思われがちですが、年齢によって検査する内容を変えていいと私は考えています。

受診した結果、採血受診結果がオールAの成績優秀者という方を人間ドックではあまり見たことがありません。腹部エコーで「脂肪肝」、胃カメラ検査で「胃炎」だったことが判明したというのはよく聞く話です。



外見上は何も問題がなくても、体は嘘をつけません。

自分の体内環境を知ること、知って変化していくことが健康への近道です。

下田メディカルセンターでは毎週（原則：火～金）人間ドックを実施しています。基本検査項目から各種オプション検査まで幅広くご用意していますので、ぜひとも人間ドックを受けてください。皆さまの健康維持に微力ながらお力添えできればと思っています。

人間ドック・検診担当

☎ 下田メディカルセンター
☎ 25-2525

戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
下小野	稲本 ^{じか} 仁花	2.10	健・裕美

結婚お幸せに

	お名前（旧姓）	婚姻日
石井	鈴木 悠太・明里(鳥澤)	2.22
青野	永田 和樹・優梨子(峯)	2.22

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
石廊崎	鈴木富士彌	86	2.6
差田	外岡 芳子	99	2.11
二條	高橋 光夫	96	2.19

令和2年2月1日から2月29日までに届け出のあったもの（敬称略）

※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

交流自治体 だより

東京都杉並区



なみすけ © SUGINAMI CITY

杉並区にデザインマンホール蓋が設置されました

杉並区では、今年の2月に地域の活性化や観光客の誘致を目的として、杉並区公式アニメキャラクター「なみすけ」たちと、区内のイベントなどをデザインしたマンホール蓋を、区内5か所に設置しました。

「デザインマンホール蓋」は、地域の特徴を活かしたデザインが施され、その地域でしか見ることができないご当地マンホール蓋です。南伊豆町内にも4種類のデザインマンホール蓋が設置されており、中でもエクレシア南伊豆には

「いろいろ男爵」と「なみすけ」が描かれたものが設置されています。

なお、杉並区を含む都内42か所のマンホールをラリーポイントとした「TOKYOデザインマンホールモバイルスタンプラリー」を5月11日まで開催中です。皆さまも、都内のデザインマンホール巡りの旅に出かけてみてはいかがでしょうか。

☎ 杉並区産業振興センター観光係
☎ 03-5347-9184



人の動き

（3月1日現在）

世帯数 3,880世帯
人口 8,137人(-13)
男 3,892人
女 4,245人

-----（2月中）-----

転入 17 転出 19
出生 3 死亡 14

4月は、国民健康保険税、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。

税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。



健康レシピ

～ちりめんじゃこのコールスロー～

毎月19日は
食育の日!



栄養価 (1人)
エネルギー: 94kcal タンパク質: 2.3g 脂質: 6.8g 塩分: 0.7g

▷ 材料 2人分

- キャベツ…100g
- キュウリ…1/2本
- ニンジン…1/6本

- ちりめんじゃこ…大さじ1強
- 酢…小さじ2
- マヨネーズ…小さじ1
- A 砂糖…小さじ1
- 塩…少々
- コショウ…少々
- ゴマ油…小さじ1



▷ 作り方 ◁

- ① 野菜をすべて千切りにする
- ② ①をさっとゆでる
- ③ 野菜の水気を切り、Aと和える
- ④ 食べる直前まで冷蔵庫で冷やし、器に盛り付ける

南豆味会 (健康づくり食生活推進協議会)
問合せ 健康増進課 ☎62-6255



★ここがポイント!

野菜に塩を振らなくても、さっとゆでることですんなりし、減塩できます。



健康一口メモ



正しい手洗いをしましょう

目に見えない多くの細菌やウイルスが手には付着しています。

手を洗わずに手づかみで食べたり、目・鼻・口を触ったりすることで、病原体が体の中に侵入します。

新型コロナウイルスなどの感染症が蔓延しないように、ひとりひとりが正しい手洗いを心がけ、感染予防に努めましょう。

《正しい手洗い方法》

- ①流水でよく手を濡らしたあと、石鹸をつけ、手のひらをよくこする
- ②手の甲をのばすようにこする
- ③指先、爪の間、指の間を念入りにこする
- ④親指と手のひらをねじり洗いする
- ⑤手首を洗い、流水で石鹸を洗い流す
- ⑥清潔なタオルやペーパータオルでよく拭く

問合せ 健康増進課 健康増進係
☎62-6255



スマイルキッズ



差田 ^{のぞみ}大高 望 ちゃん (1歳6か月)

「お外で遊ぶのだ～いすき♪
花粉なんかには負けないよ♪」

広報みなみいず 4月号

発行日/令和2年4月1日
発行/南伊豆町 編集/企画課 印刷/㈱栄協

〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ <https://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>